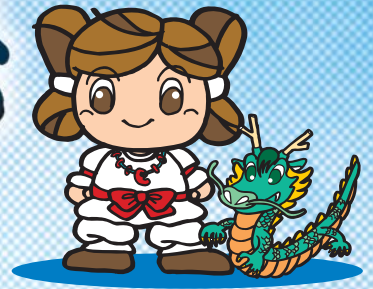


2009 平成21年

# ふいふい 放水路

2 月号 vol.179

Izumo Office of River Chugoku Regional Development Bureau



特集

安全・安心の橋づくり

## 新しいJR線神戸川橋梁が開通



とんど焼き

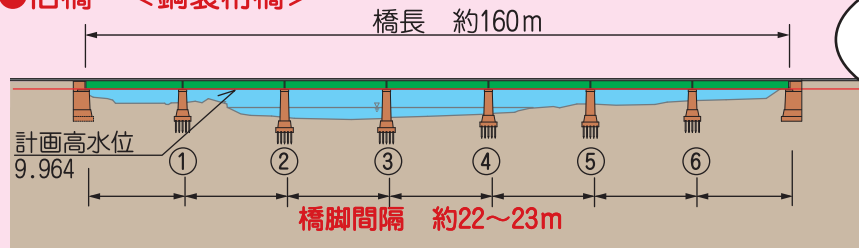
新宮川土手で行われたとんど焼きでは、正月飾りとともに、大風が焼かれました。この大風は、斐伊川放水路事業により古志地区の新堤防が完成した際に行われた、風揚げ大会用に作られた風だそうです。勢いよく燃える炎の前で、今年の良運と放水路の早期完成を願いました。

# 安全・安心の橋づくり 新しいJR線神戸川橋梁が開通

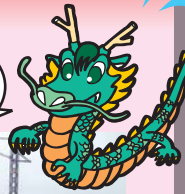
治水  
UP!

トラス橋は軽くて丈夫なため、橋脚の間隔が広くできます。川の流れを邪魔する橋脚が少なくなったため、洪水時により安全に水を流すことができました。

●旧橋 <鋼製桁橋>



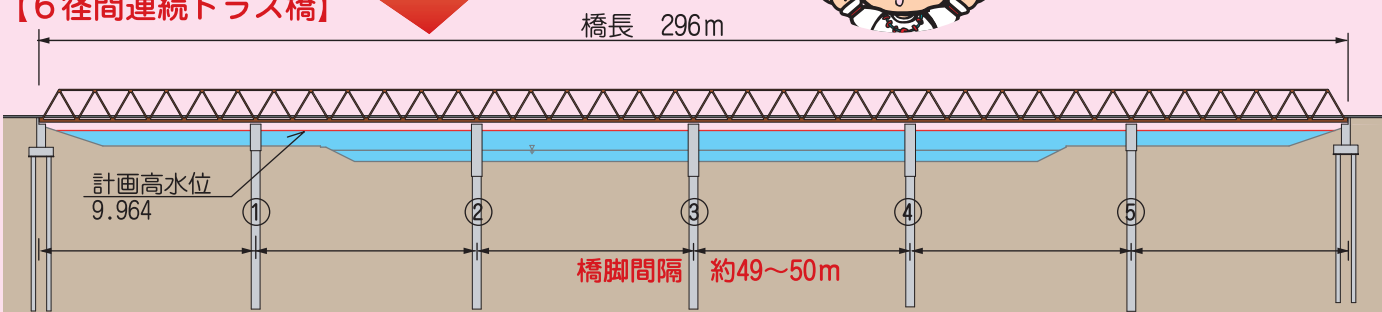
洪水時に橋脚に木などが引っかかると水がせき止められて危険だね!



橋脚の間隔が  
約2倍

橋脚の間隔がぐーんと  
広がって洪水が流れやすくなったね。

●新しい橋  
【6径間連続トラス橋】

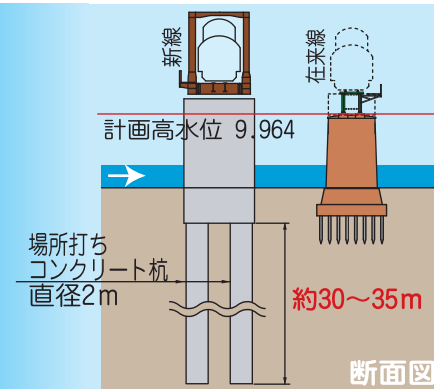


耐震  
UP!

長くてふと〜い基礎

直径2mの太い杭を地中深く30m以上建て込んで、耐震性能が大幅に上がりました。

杭の太さは、大人が4人をつないで、やっと周囲を囲むことができる太さだよ。



環境  
UP!

ロングレールで騒音・振動を低減



一般的に線路では、1本25mの定尺レールを継ぎ目で接続させて使います。そのため、列車の車輪がレールの継ぎ目を通過するときにガタンゴトンと音がします。ロングレールとは、定尺レールを溶接して継いだもので、全長200m以上のレールのことです。継ぎ目が少なくなり、安定走行、騒音の低減、乗り心地の改善を図ることができます。

今までのレール  
の場合

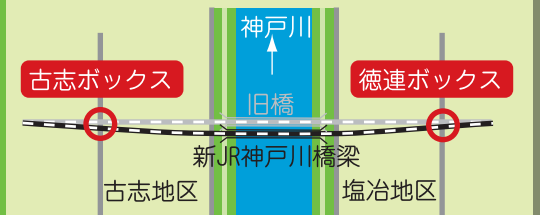


ロングレール  
の場合



安全な歩行空間を確保

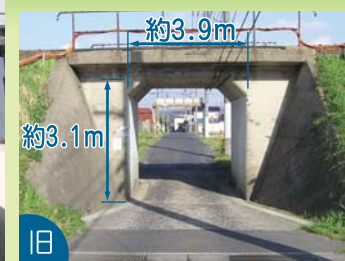
新しい橋への取付部（盛土部）も改築され、線路下部を横断していた市道のボックスが新しくなりました。新しいボックスは車道幅も広がり、歩道も設置され、より安全な道路となりました。



古志ボックス

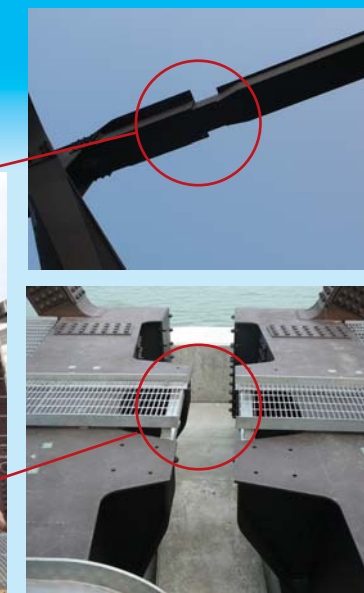


徳連ボックス



ゆれに柔軟に対応する構造

トラス橋は揺れに対して柔軟に動く構造とされています。



トラス上下部。伸び縮みし、振動しても壊れない構造。

95年間おつかれさまでした

旧橋は、1913年（大正2年）11月21日、山陰本線の出雲市～知井宮駅（現西出雲駅）間が開通する際に架けられたものです。桁はプレートガーダー形式、橋台、橋脚は煉瓦造りで当時の原形を残しています。95年の間、神戸川を渡る多くの列車を見送った橋も、新しい橋に代替わりとなりました。



## 土砂運搬用仮橋ができました

斐伊川放水路と神戸川の合流部の工事が進み、これまで活躍した土砂運搬用ベルトコンベアが撤去される予定です。そのため、上流側に工事用仮橋を設置しました。今後はこの橋で、神戸川左岸側の掘削土砂を残土処理場へ運搬する予定です。



## とんど焼きが開催されました

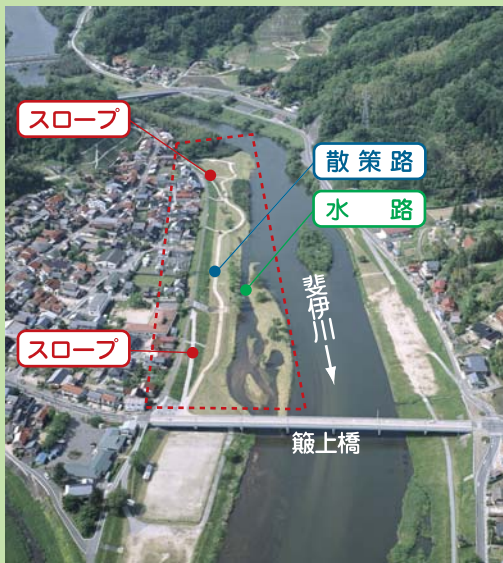
神戸川河川敷の各地区でとんど焼きが開催されました。お正月に使った門松やしめ縄、お守り、破魔矢などを持ち寄って焼き、その火にあたり、餅を焼いて食べて無病息災を願っていました。



## 河川敷の利用・管理

### 事例紹介

#### ②斐伊川・木次水辺の楽校



地元小学生による環境学習や、幼稚園・保育所では水遊びなどの水辺体験に利用されるとともに、釣りや散策などで住民により日常的に利用されています。

斐伊川・水辺の楽校は、斐伊川中流部の雲南市木次町の市街地に近接する位置にあります。平成二十二年度に「水辺の楽校プロジェクト」に登録されました。計画づくりは地元自治会、保育所・幼稚園・小中学校のPTAなどの地域住民を中心に行われ、その計画をもとに、工事は出雲河川事務所で行い、平成十六年に完成しました。



#### 水辺の楽校プロジェクトとは？

国土交通省河川局が進めているプロジェクトです。「子どもの水辺」として登録された箇所において、安全に水辺に近づきやすくするための河岸整備や、瀬、淵、ワンド等の自然環境の備えなどを行うものです。



国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5-1 TEL(0853)21-1850 FAX(0853)22-7829

E-mail: izumo@cgr.mlit.go.jp ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。 問い合わせ先: 放水路推進室 ふれあい放水路担当